別記様式第1	決裁欄					
契約番号	4312 —		専任監督職員			
天心田 5	4012	•	主任監督職員			
業務名			総括監督職員			
業務場所			検査職員			
受注者		•	着手日 令 和	年		
契約金額		1	完了日 令和	年		
		•	検査日 令	年	月	
	委託業務成績採点表	-		'	,,	
評価項目				技術	者評定	
		重み	専任監督職員	主任監督職員	検査職員	業務評定
	提案力、改善力	2				
専門技術力	業務執行技術力	4				
כל מון אנב ו ס	施工時への配慮	1				
	コスト把握能力	1				
	工程管理能力	2				
管理技術力	品質管理、調整能力	2				
	迅速性、弾力性、調整能力	1				
コミュニケー ションカ	説明力、プレゼンテーション力、協調 性	1				
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	2				
	成果品の品質	8				

合 計

評 定 (A \sim E)

※必ず記入してくださ

主任監督職員

検査職員

専任監督職員

設計業務(専任監督職員用)

		評価項目	評価の視点	配点	得点	評価細目				
			業務着手段階にお ける業務特性等の 考慮	20		□ 当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた □ 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の 法・技術に関する提案がなされた。				
			業務遂行段階における提案	40		□業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 □関連する多面的な視点から検討された。あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。				
		提案力、改善力[加点評価]	業務遂行上必要と なる課題の提案	20		条がなされた。 □当該業務で不足する課題が抽出された。 □検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。				
			業務内容等改善の	20		□業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。				
			提案	20		□業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。				
			小計	100						
			日的七中京の理解	00		□当該業務の目的、内容が理解されていた。				
		業務執行技術力	目的と内容の理解	20		□ 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。				
プロ	専		必要情報の把握	20		□業務着手時点において、適切に資料等が整備されていた。				
セ	門					□業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。				
ス	技					□業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。				
評	術					□業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。				
価	カ 		検討項目、検討手法	20		□検討項目は、設計図書等の項目を満足していた。				
						□採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。				
						□業務目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討項目間の 整合も図られていた。				
						□ 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用する など、難易度の高いものであった。				
			打ち合わせ資料の	20		□打ち合わせ資料に業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。				
			内容[減点評価]			口打ち合わせ資料に大きなミスがあった。				
						□業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。				
			十分な技術力	20		□特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。				
						□業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。				
						□新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力 を有していた。				

評価項目			評価の視点	配点	得点	評価細目	
			□計)の場合『概略設計・予備設		60		□設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 □施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 □施工方法の内容及び長所、短所に関する一般的な知識を有していた。 □施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。 □当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。
			設計』(基	施工条件の把握	40		□担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 □契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。
			本 設	小計	100		
プロセス評価	専門技術力	施工時への配慮 [設計時評価] (設計業務を対象に 評定する。1、口のい ずれかを選択する。)	□ 『詳細設計』(実施設計)の場合	小計 10 加速 1			□設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 □施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 □施工方法の内容及び長所、短所に関する一般的な知識を有していた。 □施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。 □当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 □当該地域の環境特性を把握していた。 □担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 □契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。 □必要事項を記載した施工計画が提案された。 □施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 □加工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 □本工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 □対して、施工方法、仮設備計画が提案された。 □対して、施工方法、仮設備計画が提案された。 □対して、施工方法、仮設備計画が提案された。 □対して、施工方法、仮設備計画が提案された。
				小計	100		
		コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)		コスト把握能力	100		□ 工事費に関するコスト把握能力を有していた。 □ 現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 □ コスト縮減に係わる提案があった。 □ ライフサイクルコストや新技術、新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。
				小計	100		

	評価項目			評価の視点	配点	得点	評価細目				
				実施手順、工程計			□契約締結後7日以内に業務工程表が提出されないなど、速やかに業務着手がな されなかった。				
				画	30		■業務実施方針及び業務工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていなかった。				
				中长 (+ 4)	10		□契約図書に基づき、管理技術者届及び業務計画書等が提出されなかった。				
				実施体制	10		□業務計画書等に示された業務組織計画書に基づく実施体制により、業務が履行 されなかった。				
				打ち合わせ内容の	10		□打ち合わせ記録簿が提出されなかった。				
		工程管理能力 [減点]	平価]	理解、記録	10		□打ち合わせ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映してなかった。				
				内部関係者への	10		□受注者内の意志疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映 されなかった。				
			情報伝達	10		□受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。					
				- 10 th TB	40		□ 工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を 行った。(発注者側に遅延要因がある場合は除く。)				
				工程管理	40		□ 工程に遅れが目立ち、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。(発注者側に遅延要因がある場合は除く。)				
				小計	100						
プ	管	品質管理、調整能力			100		□業務計画書等に、照査体制が記載されていた。				
	理		土木系 (照術者 がいる 場合)	品質管理			□チェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。				
セス	技						□品質管理のためのシステム(ISO9001)が構築されている部署で業務を行った。				
評	術			小計	100						
価	カ			分担業務間の調整	100		□発注者からの指示に基づき、分担業務間の調整を行った。				
							□調整の結果、期待される効果が得られた。				
							□分野間(意匠、構造、設備)の整合が取られており、食い違いがほとんど無かった。				
			建築系				□ミスは無く、調整記録等も完備されていた。				
				小計	100						
				火加利恵の亦事	40		□業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。				
				当初計画の変更	40		□その結果生じた検討内容が特に優れていた。				
				関連事業者間の調	20		ロ発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が円滑に作成 された。				
		迅速性、弾力性、調整 [加点評価]	隆能力	整	30		□作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。				
				地元住民との合意	20		□ 発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。				
				形成	30		□ 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。				
				小計	100						

		評価項目	評価の視点	配点	得点	評価細目
	п и					□ 質問に対し的確な回答がなされた、一般論と当該業務固有の議論が明確に区 別されていた。
	<i>и</i> п п		説明力・プレセンテー			□曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
プ	ケー	説明力、プレゼンテーション力、協 調性	ションカ、協調性	100		□説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。
	ショ	[In-9] [□説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより ■補足説明がなされた。
セ	ンカ		小計	100		
ス	z					□管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。
評	取		± 17 C** 1±15 W			□打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。
価	組姿	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100		ロ業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されて いた。
	勢					□ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速にな された。
			小計	100		
			目的の達成度			□設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。
				40		□(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。
						□(業務)成果は、(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。
						□高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要 な業務成果が得られた。
結						□設計図書にある検討項目、(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまと めている。
果			46 Tel. 1 1 1 - 1 1 1			□理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。
評		品の品質	的確なとりまとめ	30		□ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやす い。
価						□設計図書にある事項、(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が 理解しやすく取りまとめられている。
						□成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。
			ミスの有無	30		□修正が必要なミスは無かった。
						□ミスは無く、必要書類等も完備されていた。
			小計	100		

[※]設計時の配慮[設計時評価]においては、概略設計(基本設計)、詳細設計(実施設計)のいずれかを選択し、該当する評価項目欄の口にレ点を打つこと。 品質管理、調整能力においても、土木系、建築系のいずれかを選択し、該当する評価項目欄の口にレ点を打つこと。

設計業務(主任監督職員用)

	評価項目 評価の視点			配点	得点	評価細目
						□ 当該(業務)の目的、内容に沿った、特に評価できるものであった。
	専					□ 当該(業務)に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。
	担		業務執行技術力	100		当該(業務)に対する検討項目及び検討手法について特に評価できるもので □ あった。
		業務執行技術力	未伤我们近对	100		□ 当該(業務)の打ち合わせ資料の内容について、特に評価できるものであった。
プ	術					当該(業務)に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであっ □た。
	力					口その他
セ			小計	100		
評						□企業として積極的に技術の研鑚に取り組んでいる。
価						(業務)遂行にあたって、取り組みへの積極性、責任感に対して評価できるもの □であった。
	取組		責任感、積極性、倫 理観	100		□地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。
	組姿勢	責任感、積極性、倫理観 				(業務)遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を □図る等により、(業務)を完成させた。
						口その他
			小計	100		

設計業務(検査職員用)

	評価項目		評価の視点	配点	得点	評価細目
						□検討項目は、設計図書等の項目を満足していた。、
			検討項目、検討手			□採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。
			法	50		□業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。
	専門					□ 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用する など、難易度の高いものであった。
		 業務執行技術力				□業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等十分に理解されていた。
プロ	術力		十分な技術力	50		□特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。
セ	71					□業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足で きる解決が図られていた。
評						□新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力 を有していた。
価			小計	100		
Щ.	ш п					□ 質問に対し的確な回答がなされた、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。
	ユニケーショ	説明力、プレゼンテーション力、協調性	説明力・プレセンテーション力、協調性	100		□曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
						□説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。
						□説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより 補足説明がなされた。
	カカ		小計	100		
						□設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。
			目的の達成度	40		□業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。
				40		□業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。
						□高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
結						□ 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。
果	-	品の品質	的確なとりまとめ	30		□理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。
評	风米	:叩び叩貝	可能なこりまとめ	30		□ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。
価						□ 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
						□成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。
			ミスの有無	30		□修正が必要なミスは無かった。
						□ミスは無く、必要書類等も完備されていた。
			小計			

評点集計表(設計業務)

P.	半尿:	集計表(設計	† 莱務)	1	専任・3	上任監督	8 昌	検査員			業務評	定	
評価項	目			評価の視点	配点	得点	調整後の 評定点	配点	得点	調整後 の評定	評定	重み	得点
プ	専門			業務着手段階における業務特性等の考慮	20		計足点			上	点		
セ	技			業務遂行段階における提案	40								
評	術 力	提案力、改善力	力[加点評価]	業務遂行上必要となる課題の提案	20							2	
価				業務内容等改善の提案	20								
				小計	100								
				目的と内容の理解	20								
				必要情報の把握	20								
				検討項目、検討手法	20			50					
					20			30					
		業務執行技術	カ	十分な技術力	20			50				4	
				小計	100			100					
				業務執行技術力	100			100					
				小計	100		_						
			. Fire	施工に関する一般的な知識	60								
		#===	イ、「概略設計、予 備設計」(基本設	施工条件の把握	40								
		施工時への配 慮(設計時評	計)の場合	小計	100								
		価、設計業務 を対象に評定		施工に関する一般的な知識	40								
		する。イ、ロの いずれかを選	ロ、「詳細設計」 (実施設計)の場 合	施工条件の把握	30								
		択する。)		施工計画(施工方法、仮設備計画									
				小計	100								
		コスト把握能力		コスト把握能力	100								
		(設計業務を対象にする。)		小計	100								
	管理			実施手順、工程計画	30								
	技術			実施体制	10								
	力	工和体理处 上	[54] J. St. (57)	打合せ内容の理解、記録	10								
		工程管理能力 [減点評価]		内部関係者への情報伝達	10							2	
				工程管理	40								
				小計	100								
			++=	品質管理	100								
		品質管理、調整能力	エ个ポ	小計	100								
		整能力 [加点評価]		分担業務間の調整	100								
			建築系	小計	100								
				当初計画の変更	40								
		迅速性、弾力性	生、調整能力	関連事業者間の調整	30							1	
		[加点評価]		地元住民との合意形成	30							'	
				小計	100								
ン カ	ケコーミ	台田士 ついお*	/テーション力、協調性	説明カ、プレゼンテーションカ、協調性	100			100				1	
	3 =		ノー フョンフェ (別別の日本	小計	100			100				'	
	取 組			責任感、積極性	100								
	姿勢	責任感、積極性	生 倫理組	小計	100							2	
			上、「뻬・土 杌	責任感、積極性、倫理観	100								
				小計	100								
結果	_			目的の達成度	40			40					
評	里早	の品質		的確なとりまとめ	30			30				8	
130	成果品の品質			ミスの有無	30			30					
				小計	100			100					